



日本共産党  
都政対策委員長

さとよし

## 里吉ゆみ

住民のみなさんと力を  
合わせ、梅ヶ丘病院跡地  
に子どものこころとから  
だの健康センター、特養  
老人ホームの設置の実現  
に全力をあげます。

日本共産党世田谷地区委員会の見解を紹介します。

### 転売・マンション開発： 区の当初計画を見直させました

区は当初、特養老人ホームを求める日本共産党の提案に対し、拠点になじまないと拒否していました。また、経費削減のために敷地の半分近くを民間に転売する構想でした。

日本共産党は、わざわざ土地を買って転売するなどんでもないと批判してきました。その後、区はこの方針を撤回しました。

私の活動の原点は、だれもが大事にされる社会をつくることです。

### 提案2

## 特養老人ホームの整備を

区内の特養老人ホーム待機者は2400人。梅ヶ丘病院跡地に福祉施設をつくるなら、ぜひ特養老人ホームをつくって欲しい、

この声は大変強いものとなっています。力を合わせて、特養老人ホームの整備を確実にものにしていきましょう。

### 提案1

## 梅ヶ丘病院のDNA受け継ぎ 子どものこころの健康を守れ

梅ヶ丘病院が廃止され、多くの子どもや家族が行き場を失っています。学習障がい、注意欠陥／多動性障がい、高機能自閉症などの発達障がいでも特別な支援を必要としている子どもは全体の約6%いるといわれています(文科省の調査結果)。区も、

こころの相談や発達障がい支援のとりくみをはじめます。跡地には発達障がいの相談・療育・医療が連携した支援体制と、小児初期救急診療所の拡充で、子どものこころとからだの健康センターを実現させましょう。

世田谷区は「梅ヶ丘病院跡地利用基本構想調整プラン(案)」を発表し、昨年11月に跡地の購入を決定しました。平成31年度の開設をめざしています。

梅ヶ丘病院は、全国最大の小児精神科専門病院でした。日本共産党は、子どものこころとからだの健康センター、特養老人ホームを跡地利用計画に取り入れるよう提案しています。

### 区の調整プラン概要

保健医療センター、総合福祉センター、小児初期救急診療所などの移設統合、老健施設や通過型障害者入所施設などを整備します。特養ホームなど、法人の提案による施設が追加されました。跡地の1/3は東京都が使用することになり、取得するのは16,500㎡、用地費用は約95億円です。